安全就業だより

令和6年
第1号
5月発行

熱中症は予防が大事！

熱中症特別警戒アラートが始まりました。

日頃から熱中症に対する備えを万全にするため今年4月から運用が始まりました。

熱中症警戒アラートは、危険な暑さが予想される場合に、暑さへの「気付き」を促し、熱中症への警戒を呼びかけるものです。熱中症の危険性が極めて高くなると予想される日の**前日夕方5時頃**または**当日朝5時頃**の**一日2回発表**されます。

熱中症特別警戒アラートは、熱中症による重大な健康被害が生ずるおそれのある場合に、**前日の午後2時に発表**されます。

【熱中症の予防行動】

熱中症警戒アラートが発表されたときには、熱中症を防ぐために暑さを避ける、外出や屋外での運動及び長時間の作業をやめる、こまめに水分・塩分の補給をするといった熱中症予防行動をとりましょう。

熱中症は急速に症状が進行し、重症化します。軽症の段階で早めに異常に気付き、応急処置をすることが重要です。

熱中症の重症度と主な症状

分類	重症度	主な症状
I度	軽症 現場での応急処置が可能	めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、大量の発汗
II度	中等症 病院への搬送が必要	頭痛・気分の不快・吐き気・おう吐、力が入らない、体がぐったりする（熱疲労、熱疲弊）
III度	重症 入院・集中治療の必要	意識がなくなる、けいれん、歩けない、刺激への反応がおかしい、高体温（熱射病）

（日本救急医学会による分類）

軽症の症状が見られる人がいたら、すぐに涼しい場所へ移しましょう。そして、衣服を緩めたり、体に水をかけたりして、体から熱を放散させ冷やします。冷えたペットボトルや氷のうで首の付け根の両側、脇の下などを冷やすことも有効です。冷たい飲み物は胃の表面から体の熱を奪うと同時に、水分補給もできます。自力での水分補給ができない場合や、意識障害が見られる場合は、救急車を呼びすぐに病院へ搬送する手段をとりましょう。

熱中症は命に係わる病態です。熱中症警戒アラートを活用して、対策を講じましょう。

（以上、政府広報オンラインより抜粋）

“無くそう減らそう事故災害　自分の安全　自分で守る”

交通安全対策

令和5年の宮崎県内において、交通事故による死者数は前年より2人少ない30人で、負傷者数は3908人でした。交通事故の発生件数は前年から310件減り3488件でした。
高鍋警察署管内（児湯郡5町）では、国道10号線を主要道路としていることもあり、交通量が多いことで事故が多く発生している傾向にあります。
悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、本年度も交通安全活動への取組を行いましょう。

【交通安全宣言】

①交通ルールを順守し、安全運転を行う
②脇見・ぼんやり等の漫然運転を追放し、緊張感を持って運転する
③歩行者優先を再認識し、譲り合いの精神で運転する
④全席シートベルト、チャイルドシートを正しく着用する
⑤飲酒運転は絶対にしない、させない
⑥夕暮れ時は、早めにライトを点灯し、反射材を活用する
⑦道路の横断は、左右をよく確認してから行い、無理な横断は絶対にしない
⑧年齢により車の運転に不安を覚えた時には、家族や警察に相談する

（令和6年4月川南町交通安全の集いより）

安全作業の動画配信

全国シルバー人材センター事業協会ホームページでは「安全な草刈り作業のために」の動画を配信しています。（「全シ協」で検索）
草刈作業に従事する会員の皆さんは是非一度ご覧ください。

・動画のプログラム
・草刈作業について
・使用道具について
・刈払機について
・事故事例の紹介
・安全対策の紹介
・事故対策事例
（約15分）

草刈作業の飛び石事故

就業中の草刈機での事故（特に飛び石の事故）が全国的に多発しています。

飛び石等の事故は未然に防げます。

必ず、**飛散防止ネット**等の設置や**低速回転刃の使用**などの安全対策の徹底を図り、事故ゼロを目指しましょう。

飛散速度
130キロ／時
飛散距離
50メートル以上
（国民生活センター調べ）

” 優秀な人は仕事が出来る人？　いいえ、安全意識の高い人 ”

安全就業だより

令和6年
第2号
8月発行

安全対策への意識の高揚を

先日、当センターで請負っている仕事の中で、傷害事故が発生しました。作業現場近くを通行された際に飛散物によって顔にケガを負いました。未だ治療中で、早い回復を願うばかりです。

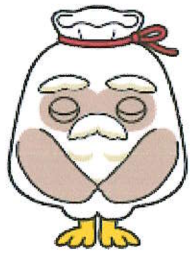
過去の安全だよりにも記載していますが、事故は未然に防げます。自分自身だけでなく、他人や物品に対しても万全な対策をとる必要があります。ちょっとした工夫や配慮ひとつでも大きな効果が得られる場合があります。

どんな仕事でも同じですが、特に草刈機やチェーンソー、刃物類を使用する作業では注意が必要です。

二度とこのような事故を起こさないためにも、日頃から安全対策への意識を高めて行動しましょう。

安全対策に関する動画や様々な対策グッズ等、事務局で閲覧したり紹介したりできます。どうぞいろいろとご相談ください。

「安全（対策）第一」でお願いします。



熱中症の症状を再確認

前回も掲載しましたが、「熱中症は命に係わる病態」です。

軽症の段階で早めに異常に気付き、応急処置をすることが重要です。

熱中症の重症度と主な症状

分類	重症度	主な症状
Ⅰ度	軽症 現場での応急処置が可能	めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直（こむら返り）、大量の発汗
Ⅱ度	中等症 病院への搬送が必要	頭痛・気分の不快・吐き気・おう吐、力が入らない、体がぐったりする（熱疲労、熱疲弊）
Ⅲ度	重症 入院・集中治療の必要	意識がなくなる、けいれん、歩けない、刺激への反応がおかしい、高体温（熱射病）

（日本救急医学会による分類）

軽症の症状が見られる人がいたら、すぐに涼しい場所へ移しましょう。そして、衣服を緩めたり、体に水をかけたりして、体から熱を放散させ冷やします。冷えたペットボトルや氷のうで首の付け根の両側、脇の下などを冷やすことも有効です。冷たい飲み物は胃の表面から体の熱を奪うと同時に、水分補給もできます。自力での水分補給ができない場合や、意識障害が見られる場合は、救急車を呼びすぐに病院へ搬送する手段をとりましょう。

“無くそう減らそう事故災害　自分の安全　自分で守る”

安全対策用品を揃えました

未然に事故を防ぐために、安全対策用品を事務局で揃えました。皆さんの請負った仕事現場で活用していただきたいです。

貸出希望の方は事務局窓口へ申し出てください。

使用方法・組み立て方など教えますので、どうぞご活用ください。

草刈用防護ネットです。アルミフレームで軽く、工具不要で折りたたみも可能。

これ以外の安全対策用品で必要なものがあれば、購入を検討したいと思いますので、事務局までご相談ください。

左右別々に回転する両刃式の草刈機「**カルマー**」です。飛び石防止に効果あります。

剪定作業中、草刈作業中など差し替え可能

作業告知看板や**カラーコーン**もたくさん揃えました。

”優秀な人は仕事が出来る人？　いいえ、安全意識の高い人”